

プロジェクト報告書

団体名 東京恵明学園乳児部

1. プロジェクト名

職員研修事業(人材育成事業)

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

人材育成研修:5年間かけて検討してきた職員の人材育成を成果あるものにしていくためにコンサルタントを入れて全職員で研修する。全職員では、各チームに分かれ、チーム内の目標の確認を行い、互いのコミュニケーションや仲間職員への理解を深める。リーダー職員には、チームの目標設定及びチームでの方向性を再度見直すことで、チームへの責任を持ち、リーダーシップを発揮し、チーム運営を潤滑に出来るようにする。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

人材育成研修として6月と10月の2回を使い、職場環境の向上を図る。

6月:午前中にリーダー職員対象のリーダーシップについての研修とチーム運営に関する研修・ワークショップを行う。午後は、全職員対象としたコミュニケーションの研修を各チームで行い、目標設定等を行う。そして、その後再度リーダー職員が集まり、各チーム別の目標に対する手順・対策について考え、コンサルタントしてもらう。

11月:午前中にリーダー職員対象に、チーム内問題解決のワークショップを行う。また、6月に立てた目標への振り返りと成果・反省を行う。

午後は、全職員が各チームに分かれ、自分の課題・目標を解決する方法のワークショップを行う。また、6月の目標に対しての振り返りを行い、互いの反省・成果を持ち寄り、チーム内のコミュニケーションを高める。その後、再度リーダー職員が集まり、これからのチームの進め方や対策についてコンサルタントしてもらう。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

現在、小規模化を進めている中で、職員人数は増加しているが、話し合いや討論する時間が減少し、チーム内の目標や進んでいく方向を見失いがちになっている。そのため、チーム内の仲間同士が同じ目標に向かっていけるように、明確で職員同士が確認し合える目標設定を行った。

そして、チームの仲間同士で目標を認識しあい、コミュニケーションを高めることによって、職場環境の改善と共に、児童への養育の見直しをすることに繋がった。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

各チームの目標を確認及び修正したことにより、チームが向かうべき方向性を再確認することが出来た。

そして、目標に向かってメンバーがどのように協力し合うのか、お互いがどのような事を期待しているのかを認識することが出来るようになり、チーム内のコミュニケーションにもつながった。

今回の研修を通して、自分達の目指す方向を明確にしなければ、本来のあるべき目標設定をすることが出来ないことを知りました。そして、今まで設定していた目標が、曖昧であると共に、自分達の目指している物がぼんやりしたものであった事を感じました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし